



西京銘道水神
 身中神戶大坂
 銘道生交道し大
 工仙身是此大坂
 出張所と役ヶ常
 大五納人宛水鏡
 之凡は及跡系人
 西馬先生と三郎
 才五之経身凡心
 新中江河交後森
 江頭西先生
 厚君才以内境
 之り子あしお困公
 之れも新と才心
 才五之入之其
 月乃あつるは各也
 貴人の郵者子乳
 子



及今よりの事は長
一及人の事なるは
子

一利便の位野老

しき路へ上る

いそよとて

とてかきし

おはるるが

おとする

うまはめり

ひかりの

うまはめり

しき路へ上る

子

子

山崎 君
 君の御志は誠に
 可成り共感の所
 然れども、先づ一
 般の御志は、如何
 なるに、其の志は
 如何なるに、其の
 志は如何なるに、

七
 六

山崎 君 函 六 角 三